



年間 300 万人以上が受験する河合塾の全統模試。
その結果は河合塾はもちろん、日本全国の進学校で重要な成績指標として進路指導の参考に。
今回、全国 310 校舎以上の河合塾マナビス校舎中、草津駅前講が全統模試の成績上昇率が
2年連続の1位になりました。
草津駅前校校舎長の真下先生にインタビューをしてきました。是非ご覧ください。

Q. 今のお気持ちを。

生徒たちが1年間、本当に一生懸命がんばってくれたこと、模試でその成果が出たこと、それを全国大会という場で表彰していただけたこと、その嬉しさが、本当に何よりも大きいです。昨年と同じことを書きましたが、生徒たちのことを誇らしく思う気持ちで、とにかく今はいっぱいです。
あとは、やはり「いまだに信じられない…」という思いもあります。昨年1位を取れたことだけでも、もう奇跡のように感じていたので…。
謙遜ではなく、いろいろな幸運がいくつも重なって取ることのできた1位だと、2年目の今でも、強く思っています。
ただ、昨年の高3生と今年の高3生、当然生徒の顔ぶれはすべて変わった中で、それでも「2年続けて1位を取れた」ということは、決して幸運だけではなく、「自分の考えていること・指導していること」が少しはこの結果に貢献できているのかな？と、自信を持って思えるようになりました。下の学年の生徒たちにも、しっかりと浸透させていきたいと思っています。

Q. 何が1位に？

昨年と同じなのですが、単純に言えば「1年間でどれだけ成績が伸びたか」を計って、ランキングした賞です。
具体的には、日本で最大規模の受験者数を誇る、河合塾の「全統模試」というのがあり、高3生は、センター試験のための「マーク模試」と、国公立2次試験/私大一般入試のための「記述模試」という2種類の模試を、年間で各3回受けていきます。
今年の草津駅前校は、この「全統記述模試」の第1回から第3回（最終回）までの「総合偏差値の伸び」が、**全国のマナビス校舎の中で1番だった**そうです。
(ちなみに昨年度の草津駅前校は、『全統マーク模試』での総合偏差値の伸び」という項目で1位でした)
【※注※】 昨年は、「記述模試」の表彰項目が設定されていませんでした。
また、今年の「マーク模試の総合偏差値の伸び」は、草津駅前校は「全国7位」になっていました。

Q. 生徒指導で工夫していることは？

まずは、月並みですが…とにかく「**基礎・基本の徹底**」を言い続けています。
意外というべきか、当然というべきか、実は難関大に合格した生徒ほど、**受験を振り返ったときに「基礎・基本の大切さ」を口にする**んですね。
その意味を、(成績上位の生徒だけでなく)すべての学力層の生徒たちにわかってもらいたいと苦心しています。
HRなどでも、その部分を伝えるために結構力を入れることが多いです。
また、これは昨年も話したことなのですが、私の校舎には、すべてのブースに「**タイマーとTodo帳**」が備え付けられています。
一言でいえば「タイムマネジメント」ですが、それらを活用してもらうことで、勉強時間の密度・濃度をとにかく「濃く」してもらうことが目的です。
「受験では、勉強時間の『長さ』で勝負できるステージなんて早々に終わるんだよ。だってみんな全力でがんばるんだから。じゃあどこで差をつけるか？
勉強時間の密度・濃度の『濃さ』、そこで差をつけていくしかないよ！」と生徒たちには、口を酸っぱくして言っています。
ちなみに、私がこの「タイマーとTodo帳」を全ブースに設置したのが「2016年の3月」です。
今、ほぼ3年が経過するわけですが、**設置してから3年のうち、2年で「全国1位」を取ることができました。**
たまたま・偶然・幸運の要素が大きいとは思いますが、私はこの事実を、結構大きな意味を持つのではないかと考えています。

Q. 他に自慢したいことは？

いろいろと工夫していることはあるのですが、ここでは書ききれないので…
少し視点を変えて、生徒だけでなく、実は私もけっこうがんばったんです！
ということを挙げたいと思います。(自分で言うことではないかもしれませんが…汗)
マナビスでは「校舎長会議」という場が年間で3回ほどあるのですが、今年度、そこで「業務知識テスト」というものが2回にわたって行われました。
このテスト、問われている内容として重きをなしているのが、現在進行中の「大学入試改革」への理解度です。
日々状況が更新・追加されていく中で、マナビスのスタッフとして、それらの状況を正しく把握・理解できていますか？という知識が試されます。
その**2回のテストにおいて、実は私、「1回目→全国1位、2回目→全国3位」という結果を収めました☆**
昨年、生徒たちががんばって全国1位を取ってくれたので、自分もがんばらないと！
と気持ちも新たにしていたので、こういう結果が出せて、ほっとしました！

Q. 高校生のみなさんへのアドバイスを。

一度きりの高校生活、部活でも勉強でも何でも、とにかく「**全力で**」がんばってください！
え？やりたいことが見つからないから、全力でがんばれない？順番が違一一一う！
「何をやっても中途半端」では、自分が本当にやりたいことなんて見つけれません！
「**何でも全力で**」**がんばる中で、本当にやりたいことが見つかるんだ一一一！！！！**

Q. 最後にひとこと。

マナビスのスタッフは「長距離走者の伴走ランナー」だと考えています。
全力で走る高校生のそばにつきながら、最短の道を示し、最適なペースを指示し、叱咤激励しながら背中を押して、栄養ドリンクも手渡します。
大学受験という山あり谷ありの長距離走の中で、決してランナーを「孤独」にはしません。
ただ、長距離走には同じゴールへ向けて走るライバルがたくさんいることも、決して忘れないで下さい。
マイペースで走って悔しい思いをするなら、苦しい思い出走って、最後に笑いましょう！